

沼島で謎ときハイキング～オリジナルスイーツづくりにもチャレンジ！～

- 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深める。保護者には子育てについて考える場を提供するとともに、ゆるやかなネットワークの構築を図る。
- 日 時：平成28年11月 5日（土） 9：30
～6日（日） 12：00
- 場 所：沼島・国立淡路青少年交流の家
- 対 象：子どもとその保護者 15組、50名程度
- 参加者：32家族104名（保護者47名、子ども57名）
- プログラムの内容：

「かやこちゃれんじ」その3 沼島編

沼島で謎ときハイキング

オリジナルスイーツづくりにもチャレンジ！！

日時 平成28年11月5日（土）～6日（日）
1泊2日 ※日帰りも可

場 所 沼島、国立淡路青少年交流の家

集 合 沼島汽船（株）土生港待合所（南あわじ市灘土生1-10）
※土生港への乗船が難しい方はご相談ください。

組・班 15組、50名程度 ※先着順

参加費 大人1,850円、子ども（小学生）1,700円、
4歳以上未就学児：450円、3歳以下200円
※土生港～沼島港までの船代（大人400円、小学生400円）
土生港での船乗料（500円）別途必要です。
※1日目の船乗料は各自でご準備ください。

申込み 裏面の申込書をお申込みください。（10/15（土）まで）

スケジュール

1日目（11/5）
9：30 受付開始
11：00 親子で沼島なぞときハイキング
17：30 ハイキング（夕飯）
19：30 大塚交流センター
21：00 就寝

2日目（11/6）
9：00 オリジナルスイーツ作り
12：00 就寝

協賛：沼島観光協会、沼島観光協会、沼島観光協会、沼島観光協会

国立淡路青少年交流の家 〒656-0543 兵庫県南あわじ市河万風船町 737-29
電話：平本 部 TEL:0799-59-2195 FAX:0799-55-0483 E-mail:mail@nadaa.or.jp JP
#P:10102://www.nadaa.or.jp/2016/ Facebook:10102//www.facebook.com/nadaa.jp

1日目

9：30～ 受付・乗船

参加のご家族は、各自土生港に集合した。親子ちゃれんじ事業へのリピーターの参加者も多く、受付を済ませたご家族同士、顔を見合わせて交流する姿も見られた。2つの班に分かれて、10分間の船旅からプログラムが始まった。船の中では、外を眺め「まだかな～」 「海きれい！」とワクワクしている様子が見られ、沼島が見えて来たら「みえた！」と歓声があがった。



11：00～ 謎ときハイキング

天候にも恵まれ、最高のハイキング日和であった。レジャーシートを敷き、手作りのお弁当を満面の笑みで食べている子どもたちの姿をたくさん見ることが出来た。

各チェックポイントではボランティアによる、じゃんけんゲーム、カードゲーム、ストップウォッチ10秒タイムアタック対戦ゲームを行った。参加者はチェックポイントで待ち構えている職員・ボランティアを見つけ、「見つけた！」と笑顔いっぱい駆け寄り、ハイキング中に見つけた虫や、景色についての話をきかせてくれた。

ゴール目標時間14：30を目指して各家族自由にハイキングを楽しんだ。子供の年齢にも差があるため、全てのポイントを回る事が出来ない家族もあったが、それぞれに楽しんでいる姿を見ることが出来た。



14：30～ 謎ときハイキングのふりかえり

目標時間内にすべての家族が市民交流センターに集まる事が出来た。ハイキングの得点発表を行い、オリジナル沼島地図を子供たちで作った。「ここキレイ」「おっきなカマキリいた」「長いミミズみた」など、見た景色、感じたことなどを付箋に書き、謎とき沼島地図を完成させた。

たくさん歩き、ほっと一息の保護者の方々はのんびり脚を伸ばし休憩していたが、子供たちは疲れた様子もなく、元気いっぱいだった



19:30～ 「大型紙芝居」～国生み神話～

夜のプログラムでは、沼島での謎ときハイキング中に保護者の方々にお願いしていた沼島でのおすすめ写真をスライドショーにして振り返った。目にした光景や、自分の姿などが映ると写真が変わるたびに、子供たちの歓声があがった。オリジナル沼島地図とともにスライドショーを見ることでそれぞれの家族の楽しくハイキングしている様子が感じられた。

国生み神話の紙芝居は、小さな子ども達には難しかったが、一生懸命紙芝居に目と耳を傾けている姿があった。



2日目

9:00～オリジナル国生みスイーツ作り

管理栄養士の坂井敦子氏を講師に迎え、創作和菓子づくりにチャレンジした。まずは、スケッチブックに作りたい絵を描いた。テーマは「国生みスイーツ」であったが、各自好きな絵、好きな形などを描いていた。

スイーツ作りが始まると、色のついた3つの生地（赤・青・黄）をそれぞれ混ぜ合わせ、緑・紫・オレンジ・茶色など作りたい作品に合わせて色を創り、形を整えていた。色のついた生地でこしあんを包み込み、世界で1つだけのオリジナルスイーツが完成した。



11:00～ 親子別プログラム（子ども：ふれあいあそび、保護者：食育講話）

子ども達はボランティア達とともに、お絵かきやカプラを使ってのふれあい遊びをした。保護者は坂井氏による食育の話を聞いた。「肉を食べない」「濃い味付けになってしまう」など、悩み質問が様々でた。坂井氏も交え、子育てにとって大切な食生活についてもわかりやすく学べ、普段の食をふりかえることができた。

7 参加者の声

- ・楽しい時間を過ごすことが出来た。
- ・自然の中での親子体験は家族だけでは計画しにくいけど安心して参加できた。
- ・めったにできない和菓子作りが体験できた。
- ・子供たちにとって貴重な体験ができた。
- ・沼島の事に興味を持って面白かった。
- ・見る・聞く・バランスよくいい体験ができた。

8. 所感

日帰りの方も含めて104名32家族と多くのご家族の参加があった。親子での体験活動のニーズの高さを改めて感じた。また、親子ちゃれんじ事業のリピーターの方々も多く、参加者同士が顔見知りになり、声を掛け合う場面も見られ嬉しく思った。今回の親子ちゃれんじ その③は淡路島が日本遺産に認定されたこともあり～国生み～に関してのプログラム作りを行った。島内・島外の沼島への関心の高さも知ることが出来た。今後も、淡路島のいいところを親子の体験活動を通して広く伝えていくことができればとよいと感じた。

今後の「親子ちゃれんじ」の予定

- ④ 12.17～18文化体験、⑤ 3.19～20ボラ企画